

6月に季節外れの台風襲来 2023年度を振り返る



6月の台風2号の影響で大量の流木が漂着した茅ヶ崎市汐見台海岸

2023年度は、6月初旬に襲来した季節外れの台風が海岸に一番大量のごみをもたらしました。

4月は南風が強く吹く日が続いた影響で、例年よりかなり早いタイミングでカツオノエボシやカツオノカムリが漂着し大きな話題となりました。



海岸に漂着したカツオノエボシ

さらに、この南風が黒潮によって流れてくる海外からのごみを続々と海岸へ吹き寄せ、看過できない量になりました。

通常、黒潮は、日本の南岸に沿うように西から東へと流れ、黒潮のごみはあまり

相模湾沿岸には入ってきませんが、本州南岸沖に大きな冷水渦(冷水塊)が居座ると、そこを黒潮が迂回して流れる現象「黒潮の大蛇行」が発生し、東海から関東にか



海岸に漂着した中国製のカキ養殖用フロート

けては、黒潮が通常より沿岸に近づきます。これにより、南風が吹くたびに海外からのごみが相模湾沿岸に漂着しました。

6月は2日に襲来した台風2号の影響で、まずは県内から流出したごみが大量に漂着し、それらをざっと清掃した後に、県外から流出した流木が黒潮によって相模湾沿岸に大量に漂着し、今度はその処理に追われました。

7月～9月は、台風の直撃はなかったものの、ゲリラ豪雨が各所で発生し、その影響のごみが漂着し、酷暑の中での清掃に非常に苦労しました。

今年度も春から秋まで、バーベキューごみの被害が酷く、その惨状が多くのメディアに取り上げられました。

10月～2月は雨が少なく、相模湾側で



海岸に放置されたバーベキューごみ

はキレイな状態が続きましたが、東京湾側の北向きの海岸には、冬場の北風に吹き寄せられたごみが、連日、大量に吹き寄せられました。

湘南国際マラソンのチャリティ募金で軽トラを購入しました



第17回湘南国際マラソン(2022年12月4日開催)のチャリティ募金で海岸清掃用の軽トラックを購入させていただきました。美化財団は、地球環境活動を叶える活動団体としてチャリティ先

に選定され、参加ランナーから任意で募金をいただきました。

軽トラックは、荷台をステンレス製、下周りを防錆塗装にし、さらに荷室を深くする海岸清掃仕様に改造され、ごみを

無くそうという思いからナンバーは「5379(ゴミナク)」にしました。

2023年開催の第18回大会でもチャリティ募金をいただいたので、もう一台軽トラックを購入する予定です。

海の家のカギが海岸で大量に見つかります



冬から春にかけて海岸で風が強く吹くと、表層の砂が飛んで、砂中からクギが出てきます。

これは、夏の海の家解体時にでたモノで、解体作業中に砂の上に落ちると、すぐに砂の中に沈んでしまい、その場で回収することができず、こうして時間差で砂の中から出現します。

クギは、海の家が建つ全ての海岸で見つかり、錆ついた古いモノだけでなく、新しいモノも多数発見されます。

美化財団では、パチンコ店が床に落ちたパチンコ玉を回収する際に使う「ハンドマグネット」という道具を使用していますが、毎年千本単位で回収でき、なかなか減らないのが現状です。

財団直営部隊が活躍しました

2023年7月から2023年11月までの103日間、4人1班体制で財団直営部隊が海岸清掃に従事し、約160トンのごみを回収しました。





JAMSTEC 中嶋亮太氏



SAKATANTO 松並三男氏



2024ハイブリッド交流会を開催しました

3月3日に「2024ハイブリッド交流会」を開催しました。ハイブリッドは初、対面は実に5年ぶりの開催でしたが、過去最高の411名(会場:152名 オンライン:259名)の参加がありました。

交流会は、国立研究開発法人海洋研究開発機構の中嶋亮太さんの「深海調査船が見た海洋プラスチック汚染」と題した講演からスタート。海に流出したプラスチックごみが、消えないごみとして海洋

に蓄積を続け、深海がプラスチックごみの溜まり場になっている実態や深海生物への影響などを豊富な写真や映像とともにご紹介いただきました。

次のSAKATANTOの松並三男さんによる「鮭の名を冠する川の現場から。」と題した講演では、山形県に古くから鮭が数多く上る川として知られている「鮭川」の名を由来とする「鮭川村」に受け継がれている鮭文化からの学びと自然との

関わり方などをご紹介いただきました。

どちらの講演も、参加者から多くの質問が寄せられ、活発な質疑応答が展開されました。

感謝状贈呈式を挟んだ最後の懇親会では、宝製菓株式会社様と株式会社鎌倉まめや様にご協賛いただき、「初めまして」が飛び交う、新たな出会いや、つながりが生まれる場となりました。

東京女子大学 インターンシップ を受入れました

3月11日から3月15日までの5日間、東京女子大学からインターンシップ生1名を受け入れました。

学生は、財団職員とともにトラックに乗って海岸パトロールに出かけ、実際の海岸で清掃作業やごみの回収を行っただけでなく、講演やごみ調査などにも同行し、美化財団の業務を幅広く体験しました。



感謝状を贈呈しました



特定非営利活動法人湘南ビジョン研究所様



NPO法人湘南クリーンエイドフォーラム様



うみびか様



NPO法人海の森・山の森事務局様

長年に渡る美化活動に感謝して下記の5団体様に感謝状を贈呈させていただきました。

- ・特定非営利活動法人湘南ビジョン研究所様
- ・NPO法人湘南クリーンエイドフォーラム様
- ・うみびか様
- ・NPO法人海の森・山の森事務局様
- ・緑の油壺を守る会様

また、合同会社BLOOP様のご協力により、今回から感謝状本体を再生プラスチック製に、土台を神奈川県の間伐材に変更しました。

